硬式

ボーイズリーグ北九州支部

第53回日本少年野球選手権大会北九州支部予選

令和4年6月18日(土)
北九州市立本城球場

決勝

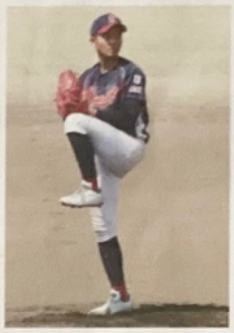
(八) 菅、内木場、田中 - 長谷川　(小) 林、梅山 - 九木田
【三】長谷川 (八)

	1	2	3	4	5	6	7	
八幡南B	1	0	1	3	0	0	0	5
小倉B	0	0	0	0	0	0	1	1

八幡南ボーイズ
(3年) 但馬 陽希 主将
菅 太樹
山下 悟空
長谷川 舜
山本 将太
松尾 佑人
小辻 翔太
勝木 翔大生
吉田 翔大太
福田 真心
花元 龍士郎
加藤 蒼登和
田中 豪翔
長尾 翔真
(2年) 内木場 陽也
柿原 倫也
梶原 大和
古賀 湧大
柴田 翔大
葉山 正汰
山中間 皓太期
塚本 空
前野 瑞稀
岩野 大聖
宮崎 英心
佐藤 郁眞
青木 瑛汰
機本 聖優
中東 飛斗
村上 康
田中 滉
梅山 久
与田 玲樹
谷崎 悠真
石井 雄樹
秀島 拓大
木村 伊吹
荒木 司
竹田 鉄生
宮浦 敬翔
良永 修

小倉ボーイズ
(3年) 木下 蓮太朗 主将
林 結大
九本 想禅
清水 徳馬聖
橋本 健心
岡野 陸輝
(2年) 中東 飛斗
下田 健心
岡野 陸輝

八幡南『つなぎの野球』で全国切符を獲得


▶好投する八幡南B先発の菅くん

14チームで行われたトーナメントの決勝は、6月18日(土)に、八幡南ボーイズ(以下、八幡南)と小倉ボーイズ(以下、小倉)のカードにて、北九州市立本城球場で開催された。

1回表から、古賀哲也監督代行(以下、古賀監督代行)をして勝因とたらしめた「つなぎの野球」が、早々と展開された。

1番・花元くんがショートへの内野安打で出塁すると、俊足を飛ばして二盗成功。2番・福田くんが四球を選び、3番・長谷川くんの投前犠打で1死二三塁。この場面で、4番・菅くんのショートへの内野ゴロの間に、花元くんが先制ホームをおとしいれた。

▶3回表、2点目のホームインの長谷川くん

3回表、3番・長谷川くんの左越三塁打で1死三塁とし、バッテリーエラーにて、さらに1点を追加。これら2点は、タイムリー安打によるものではない。まさに、「つなぎの野球」を地で行く形となった。

先制打を放った先発・菅くんは、ストレートとスライダーの制球もよく、3回を被安打2無失点に抑えた。

▶無安打救援の抑えの八幡南B田中くん

好投の菅くんを打線も援護する。4回表、3安打に1四球をからめて、3点を追加し、5－0と大きくリードを広げた。

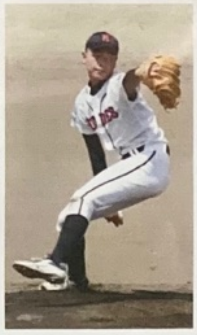
「2年生投手陣の加入」も、古賀監督代行があげる勝因の一つだ。4回裏より、2年左腕・内木場くんが登板し、無安打無失点と快投を見せた。

6回裏からは、先輩の田中くんがリリーフし、無安打救援。

小倉も最後の意地を見せる。7回裏、2四球を足がかりに、内野ゴロの間に1点を返した。しかし、反撃もこれまで。八幡南の強さが際立つ勝利だった。

(記事 濱中隆志)

▶4回表、八幡南・小辻くんがスクイズ決める


▶小倉B先発の林くん

優勝チームコメント

八幡南ボーイズ

▼古賀 監督代行
守備のミスもなく、チームが「(主戦の)怪我をした加藤(蒼登)を全国に連れていく」と、一丸になった勝利です。全国では、ベスト4以上を目指します。

▼但馬 陽希 主将
優勝できて、嬉しかったです。チームが勝つように、声を出しました。日本一が目標です。

▼先発の管 太樹 くん
二回戦の調子が悪く、見返してやろうとマウンドにあがりました。最後の大会で楽しむことができました。

▼左越三塁打を放った長谷川 舜 くん
スライダーかカーブを狙って打ち、いいところに飛びました。(バッテリーエラーでの本塁突入は)ランナーコーチの指示通り、思い切って突っ込みました。

▲準優勝の小倉ボーイズ

(写真 濱中隆志)